

2020年～

物流機能の融合

H.U.グループホールディングス(株)と医療・ヘルスケア領域における戦略的業務提携を締結しました。

2020年～

サプライチェーン全体の生産性向上

大手調剤薬局グループやドラッグストアと共同でSDGsに貢献する新たな医薬品流通モデルの構築に取り組んでいます。

2021年～

積極的な成長投資

SBIインベストメント(株)と共同で「MEDIPAL Innovation 投資事業有限責任組合」を設立しました。

サプライチェーン全体の生産性向上

取組み事例

新たな医薬品流通最適化モデル構築に向けた取組み

社会全体にSDGsの意識の高まりが広がっていく中、医療用医薬品等卸売事業ではチェーン展開をしているドラッグストアなどのお得意様との協業により、CO₂排出量の削減や、生産性の向上、働き方改革を進め、持続可能な社会の実現に貢献する取組みを進めています。

店舗ごとに最適な医薬品の在庫量を分析、管理することで両

社間の受発注・納品業務を減らし、車両燃料に起因するCO₂排出量を削減します。また、医薬品の受発注、検品などの作業を効率化し、物流に係る従業員の労働生産性を向上させるとともに、医療従事者が本来業務にあてる時間を創出し、地域医療に貢献できる体制を構築しています。

物流最適化による効率化とCO₂排出量の削減



- お得意様と当社双方の課題解決に向けたサプライチェーン全体最適化のご提案
- 導入企業・店舗数は順調に拡大中

〈導入事例〉

現状：頻回・不定期の配送

- ・配送回数の見直し
- ・個口スキャン検品の導入



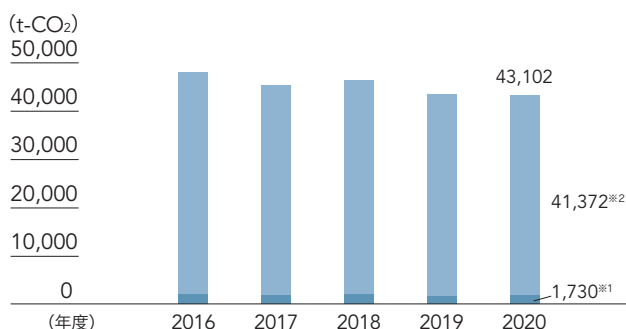
配送回数 基本的に **1回/日** 納品
→ 車両燃料に起因するCO₂排出量 **80%削減**

検品時間 検品時間 **1分/回**
→ 検品時間 **84%短縮**

施設からのCO₂排出量

(株)メディセオと(株)PALTACは、省エネ法の特定排出者であり、ALC・RDCをはじめとした拠点施設でのCO₂排出量を集計しています。2020年度のCO₂排出量は、前年より24t-CO₂増加し、43,102t-CO₂となりました。

■ 施設からのCO₂排出量の推移



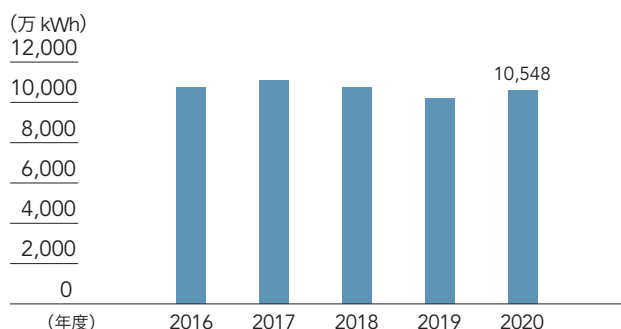
対象会社：(株)メディセオ、(株)PALTAC
 ※1 スコープ1：自社の燃料使用に伴う排出
 ※2 スコープ2：事業所の電力使用に伴う排出

電力使用量

当社グループは、施設での電力使用量について各社で管理しています。2020年度の電力使用量は10,548万kWhとなりました。

(株)メディセオでは、一部の建屋にデマンド監視装置を設置することで、電力使用量の見える化を行い、最大需要電力の削減を図る等の取組みを行っています。

■ グループ全体の電力使用量の推移



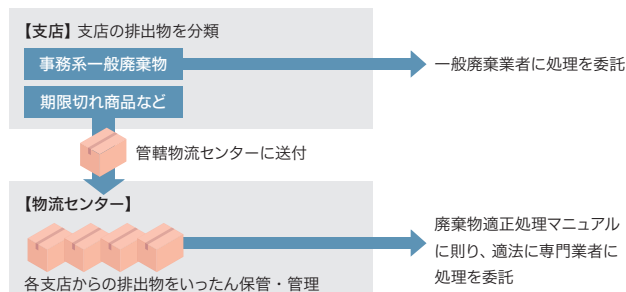
対象会社：(株)メディカルホールディングス、(株)メディセオ、(株)エハルス、(株)アトル、(株)MMコーポレーション、(株)PALTAC、MPアグロ(株)、メディカルフーズ(株)

廃棄物処理・資源有効活用

廃棄物処理

当社グループは、流通企業として、「循環型社会形成推進基本法」等に従い、医薬品等の廃棄物の処理手順等についてまとめた「廃棄物適正処理マニュアル」を作成し、廃棄物処理を適法・適正に行っています。

■ 廃棄物処理の流れ



対象会社：(株)メディセオ、(株)エハルス、(株)アトル、(株)MMコーポレーション、(株)PALTAC

TOPIC

第22回物流環境大賞「低炭素物流推進賞」を受賞

(株)メディセオでは、日本貨物鉄道(株)、日本フレートライナー(株)、日本石油輸送(株)との4社共同プロジェクトにおいて、物流センター間の医薬品移送のモーダルシフト[※]に取り組んでおり、一般社団法人日本物流団体連合会主催の第22回物流環境大賞「低炭素物流推進賞」を受賞しました。

本取組みは、埼玉ALCから、東北ALCまでの医薬品移送を、2021年1月以降、従来の大型トラックによる陸送から鉄道コンテナを利用した輸送へ切り替え、CO₂排出量を年間約186トンから、そのおよそ90%減にあたる約16トンまで削減できると見込んでいます。また、ドライバーの労働環境改善と物流コスト削減につながります。

今後は関東から北海道、中部、近畿方面の物流センターへの移送についても、モーダルシフトの実施を検討しています。

※モーダルシフト：トラックなどの自動車による貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換すること。